

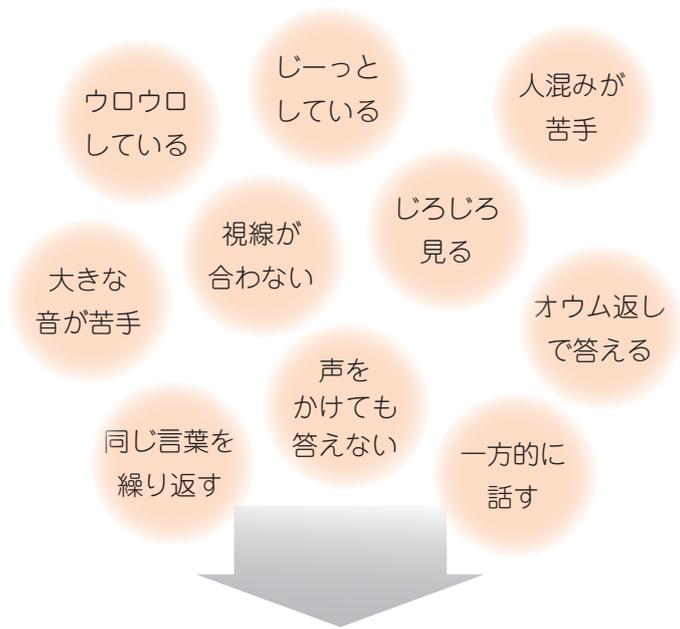
災害時、知的障がいのある人を見かけたら

東日本大震災では、障がい者の死亡率が健常者の3倍程高く、発災してから1ヶ月以上、行方不明のまま安否確認ができなかった人も多数いました。障がい者に避難情報が届かなかったり、一般避難所での生活に慣れず、車中で何日も過ごすといったことも起こりました。

災害時、障がい者に対する周囲の理解や支援があれば、助かる命もあります。

このパンフレットでは、知的障がいのある人の特性や個性を理解して支援していただきたい内容を記しています。災害時、地域の一員として、障がいをありのまま受け入れて、あたたかい心で助け合うことができれば嬉しく思います。

知的障がいのある人の特性（例）



誤解されることがよくあります

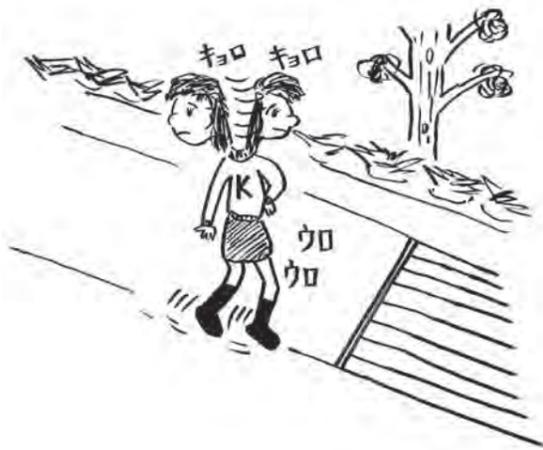
知的障がいだからといって、全くできないということではありません。できることもたくさんあります。優しさや純粹さ、嬉しい、悲しいといった感じ方、感性などに障がいはありません。一人一人の行動には、その場その場で意味があります。そして、一人一人に違いがあります。その人個人を理解し、接していただけたらと思います。

知的障がいのある人は、こんな特性を伴うことがあります

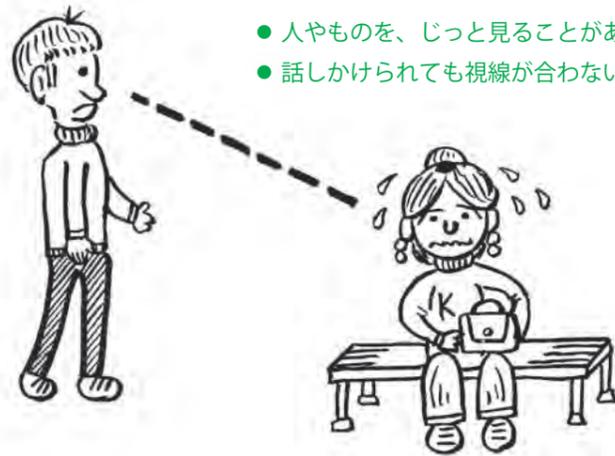
※ここでの例がすべての知的障がいのある人にあてはまるわけではありません。

誤解されやすい行動

- 落ち着きなくキョロキョロ、ウロウロする人がいます。
- 部屋の隅などでずっとじっとしている人もいます。



- 人やものを、じっと見るがあります。
- 話しかけられても視線が合わない人もいます。



コミュニケーションがうまくとれない

- 話しことばがない人は、話しかけられても返事ができません。
- 聞かれたことをオウム返ししたけなのに、それが答えだと思われてしまいます。



- 自分の思いがたつたらず、パニックを起こすこともあります。



かばんの中などにSOSカードを持っていたら、その情報を見て接してください。

環境や状況の変化に柔軟に対応することが苦手

- 変化に対する不安や抵抗、こだわりが強く、スケジュールの変更や不慣れた場所で落ち着きなくなることがあります。
- ひっくり返る、飛び跳ねるなど混乱した行動（パニック）が起きることもあります。



避難するときに見かけたら…

- * わかりやすいことばで避難場所を伝え、やわらかい表情で本人を安心させてください。
- * ことばの理解ができる人には、具体的に「ここにいると怪我をするから一緒に行こう」などと声をかけ、誘導してください。
- * ことばの理解ができないと思われる人には、手を引くか、軽く肩に手をかけ、優しく誘導してください。
- * 危険な場所に近づきそうな時は、強いことばや行動でも制止し、危険から遠ざけるようにしてください。



(表)

SOSカード	
氏名	愛称
自宅住所	血液型
自宅電話	型 RH ±
所属先	写真
所属先住所	縦 3.0cm
所属先電話	横 2.4cm
家族 1	家族 2
携帯電話 1	携帯電話 2
その他の連絡先	
住所	
電話	
家族との集合場所	
場所 ①	
場所 ②	

(裏)

ひとりである場合は、家族などに連絡をお願いします。

(中)

障がいの内容: コミュニケーションのとり方
食事、排泄、睡眠、こだわり等
持病、発作、アレルギー等 (病名名)
服薬
その他

持病や服薬については、医療班に知らせてください。

避難所で見かけたら…

- * 災害状況の把握ができず、その不安から大声を出したり、行動が落ち着かなくなることがあります。本人を叱ったりしないで、ゆったりと接してください。
- * 怪我をしていたり、体調が悪そうと思われる場合、医療班につなげてください。
- * 新しい情報が入れば、わかりやすいことばなどで伝えてください。
- * 避難所の中に福祉スペースが設置されることがありますので、配慮をお願いします。

地域の皆様へ

災害被害を少なくするために
ふだんから地域の皆様とのつながりを
大切にしたいと思っています

私たち、知的障がいのある子の親等で構成されている「東大阪市手をつなぐ親の会」では、災害被害を少なくするためには、まず、「自助」—自分・家族で出来ることをする—が最も大切と思い、「障がい児者・高齢者のための防災マニュアル」「災害時お役立ちノート」「SOSカード」を作成してきました。それと同時に、地域や身近にいる人同士で助け合う「共助」も大切だと思っています。

現在東大阪市には、療育手帳を所持している知的障がい者は3949人（平成24年4月1日現在）おり、療育手帳を所持していない人を加えると、その倍以上とされています。皆様の地域にも一緒に生活している人がいることと思います。

親であっても、わが子の障がい特性を理解することがむずかしかったりしますが、地域の皆様との日々の生活、関わりの中で、少しでも理解して、ありのままの姿を受け入れていただけたら、災害被害を少なくすることにつながっていくと思っています。そのための協働・協力は是非させていただきたいと思っておりますので、どうぞお声をおかけください。

東大阪市手をつなぐ親の会

東大阪市手をつなぐ親の会

〒577-0054 大阪府東大阪市高井田元町1-2-13

東大阪市立総合福祉センター内

TEL 06-6789-7201 FAX 06-6789-2924

<http://www7.ocn.ne.jp/~negai/oyanokai/index.html>